

無所属 **3才、6才の母**
子どもは出生体重563gの未熟児

かわしま美里 みさと



プロフィール

1979年生まれ
中央区日本橋浜町在住、2児の母
2002年 早稲田大学 法学部 卒業
2002年～ 日本政策金融公庫
2007年～ 証券関係会社にて勤務

かわしま美里の想い 行政の意識改革 小さな声を大きな力に!

妊娠23週の時、思いがけない早産で子どもが生まれました。出生体重は563グラム。生存すら危うく、医師からは様々な障がいの可能性を告げられ、不安で押しつぶされそうな気持ちでいっぱいでした。しかし、この命をなんとか守りたい、出来る限りのことをしてあげたい、と強く思い、これまで育ててきました。

そういった中でぶつかったのは、保育園に入りたいと思った時、就学相談を受けたいと思った時、小学校へ相談したいと思った時など、行政の窓口で足を運ぶ度に受けた「前例がない(から対応できない)」という言葉です。また、療育^[※]等の福祉サービスもなかなか受けることが出来ませんでした。

皆さんも同じように、子育て、介護、福祉等の場面で、前例にないと言われて困ったことはないでしょうか。また、前例にならった対応が現状とずれていて困ったことはないでしょうか。

中央区に暮らす人たちが困った時に、より親身に迅速に対応する行政に変えていきたい。お金をかけずとも、行政の意識を変えるだけで改善できる部分はあります。

区民一人一人の声は小さいかもしれませんが、しかしその小さな声を合わせることで、大きな力にしていきたい。皆さんの声を区政に届けさせてください。

[※] 発達に凹凸のある子どもが社会的に自立できるように取り組む治療と教育のこと。

行政の意識改革

乳幼児からお年寄り、

障がい者が暮らしやすい中央区に



目指します

しがらみのない立場でムダを削減し、

人口増加に対応した保育園(一時保育、病児保育含む)、幼稚園、小・中学校、公立学童・プレディの充実を

18歳までの医療費無料化を

臨海部の人口増加に対応した交通網整備を

高齢者福祉・介護の充実・障がい者福祉の充実を

しがらみのない立場で行政の意識改革を促し、

行政は「区民へのサービス業」という意識をもち、親身で積極的な情報提供や迅速な対応を (←私も困りました。)



皆様の声を聞かせてください。

☎ 080-2109-1507

✉ misato.kawashima.chuoku@gmail.com

🌐 <http://misato-k.com/>